

富川市街地活性化基本構想(案)に

- 1 意見募集期間 : 平成27年4月24日(金)～5月23日(土)
- 2 意見提出人数 : 4人(4件)
- 3 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見については、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 4 意見提出者の氏名については、記載しておりません。

「富川市街地活性化基本構想(案)」

意見番号	意見の分類	意見の内容
1	P13 8・拠点施設の主な機能、配置の考え方 (1)拠点施設の主な内容	地域住民が有償ボランティアとして子育てを支援する「ファミリーサポートセンター」を拠点施設内に設置して、その施設内に事務局(担当職員)を配置されるよう要望します。
2	構想全体	5月14日の朝刊に原案が載り、23日まで町民からの意見を公募、6月にも正式決定は急なことと受け止めています。小さな発案、計画ではないのに何かの形で常に発信されていたのでしょうか。昨年8月より半年に5回ほどの会議で理想がまとめられるほどの小さな構想とも思いません。何をすにすにても、今、現役で町を支えている世代及びこれから支えていくだろう若者、男女問わず巻き込んでの構想内容なのか疑問に思われてなりません。とは言っても既に6月の正式決定であれば何をすにすにてもいいと判断せざるを得ません。富川市街地国道235号線沿いの土地代が、疲弊した地方では考えられないほどの高額なことにも驚きます。それも要因で市街地での発展が進まないのだと思います。地主側との協議が必要とされていますが、この土地代が一番のネックとなると予想されるもの、見通しがついていないのに具体的な事が後回しと感じます。それでも6月には正式決定されるのでしょうか。紙面には、予算が記載されていませんでしたが、その件も後付けにされるのでしょうか？法律、規制の中、多方面に兼ね合いをみながらこのような機能を集約した設備を造り上げるのは、多くの痛みを伴うことは仕方ないことです。しかし、その後の痛みをカバーできる組織づくりが大切だと思います。JR日高線の存続が難しくなってきた、今、もう一度町民上げての町づくりを時間をかけて考えていただきたい。箱物を造るのは血税及び中央からの補助金を投入すればそれほど難しいことはありませんが、そこに人が集まらなければただのお金のかかる箱になります。先に人ありきです。箱物を造れば人が集まるという考えほど甘いものはありません。箱物を造る事がスタートではなく、出来上がってからがスタートだと思います。そのスタートの先がどの位見据えられているのか、組まれた試算に沿った様に進むのか、細部にわたり考えなければなりません。町外の人を取り込む前に、町民が集う箱であることが先決だと思います。町民が集わずして町外の人を向けません。本当に需要がどこまであるのか町民の声なくして供給し続けては、そこには負が増すばかりです。有形、無形にかかわらず、正を生み出さなければ、次の世代はつぶれてしまいます。既存施設の活用法も決まらずに、新しい箱を造っても員の財産を増やすばかりだと思います。インターネットで発信されていますがみ取れません。基本構想策定委員会8名の性別、年齢の割合が偏ったものではないこと、この8名が日高町内において公開説明などの機会を持って行われたことであってほしいと・・・
3	P13 8・拠点施設の主な機能、配置の考え方 (3)配置の考え方	～商店街が死んでいます。次世代の後継者のことも考慮して！！～ ○大町振興会(国道235号線に面している商店の組合)には何の相談もなく話が進んだと思います。 ○富川市街地活性化を考えるに当たりC街区の再開発を第一に考慮すべきだと思います。空き地と売地が列をなしている現状で富川の中心街が死んでいます。国道235号線と国道237号線の両方にアクセスが良いのと本年4月に供用開始したポケットパーク(イルミネーション等)の注目度も更に上がり、日高の町民はもとより、他町村の人達もきつと見直し賑やかさが増すと思われます。 ○この様に折角新しいポイント(ポケットパーク)を造り上げたのに、その場から繋がりを広げた方が、新しい街の魅力、新しく作る街の魅力が広がっていくと思われるので、C街区の案を第一と考えます。
4	構想全体	富川市街地活性化について基本的な考え方が小生と隔たりがあり、意見をまとめてみました。 今、国も地方創生で動き出しており、地域の少子高齢化に伴う危機的な空き店舗・空き地の増加、後継者のいない状況で廃業しなければならない状況で、行政も商工会も何も感じず地域活性化に走っている。 身の丈に合ったものになってないし、小売業の置かれている実情を把握していない状況での活性化案、自由競争の時代であり、消費・流通形態の多様な変化、コンビニでは3年先の弁当の施策等の現状を認識していない、資本力も人も及ぶところではない地域零細企業の生き残り策に行政は故何程の力を発揮したのであろうか、もう少し真剣に地域の实情に目を向けた取り組みが必要と考えるところであります。 生産人口の減少が地域全体で悪循環を推し進めており、企業誘致は夢のまた夢であります。であるなら企業誘致より地域の観光資源の開発・推進を図り小売業の生き残りの戦略を構築すべきであります。 今回の富川市街地活性化基本構想において、街の再開発で最も重要な位置にしなければならない零細小売業の視点がみられない。 商工会の代表のみを加えた議論ではなく、富川地区の住民を加味した説明会や検討会の立ち上げが必要であったにもかかわらず、行政内の若手で基本構想の話し合いが2年以上に亘り、議論を重ねたポーズがとられて、昨年8月に第1回の委員会が開催されたこと、延べ2回の開催とのこと。市街地形成は歴史的に零細小売業が担ってきた。中心街のにぎわいや若者の集まる核づくり等を提唱しているが、当町の人口推移を見て若者層に安定した就労があるのか、その根拠を無視した活性化策とみられる。行政が最重要に掲げなければならない地域経済を守り、雇用の創出が最も重要と考えるが、我が町ではその傾向がみられない。また、零細小売業の実情をまったく認識していない見識者の方々の議論で、若小牧の経済圏の中に位置していること、少子高齢化が同時進行的に進んでいる現状を認識した活性化議論がなされたか疑問に思える。

に係るパブリックコメント結果について

～富川市街地活性化基本構想は、富川市街地の将来像など基本的な考えを示すもので、事業実施は構想に基づき基本計画、実施計画等によって具現化されるものです。～
反映区分は以下のとおりになります。

- 「A」:構想案に盛り込むもの 「B」:構想案に既に盛り込み済みのもの 「C」:構想案に盛り込まないもの
「D」:その他要望、意見、感想等

に係る意見一覧

日高町の検討結果	反映区分
子育て支援に関しては、平成27年度から子ども・子育て支援新制度に基づき、保育所利用基準の拡大、一時保育時間の延長等のサービスを提供しています。その中で、新たな保育サービスの拡充に対しては利用者ニーズを把握する必要があることから、現時点での「ファミリーサポートセンター」の設置を本構想に盛り込むことは困難と考えます。しかし、事業者手までには時間を要することから、子育て支援の様々な方策を検討し、実現可能な事業については、随時、追加していくこととします。	C
貴重なご意見として承ります。 まず、本構想(案)を策定する経緯につきましては、富川地区が市街地として健全な発展を実現することを目的とするプロジェクトとして、平成23年9月に役場若手職員で構成する検討会議を立ち上げ、先進地の視察、若手商工業者も参加した市街地活性化セミナーの開催など、富川市街地の活性化推進に取り組んできました。その中で、富川地区は当町全体の発展を牽引する地域であり、緊急な市街地の活性化が必要であるとの意見がまとまりました。 また、市街地の活性化には、地域住民の生活の中心となり、町の情報発信の拠点となる施設建設についても検討されました。しかしながら、限られた財源の中で計画を実施するためには、地域住民の意見を反映した事業とすることが重要と考え、本構想策定に取り組んだものであります。 構想(案)の策定にあたりましては、関係団体からの代表で組織する「策定委員会」とその関係団体からの推薦者及び役場若手職員で組織する「策定部会」とで構想内容を検討して参りました。 関係団体からは子育て世代の方を推薦いただき、これからの富川市街地活性化に必要なとされる拠点施設の役割と機能について、また、その施設の設置街区について部会自身の子供達が利用することを念頭においた協議を重ねた結果を報告書としてまとめ、策定委員会に提出されました。 その後、策定委員会において、部会から提出された報告内容を検討した結果、部会からの意見を多く反映した構想(案)として答申されたものであります。 次に、ご提案の既存の施設の活用法につきましては、本構想(案)が決定され事業を進めるなかで、商工会、関係機関及び住民の皆様からの意見をいただきながら活用法について検討を進めて参ります。 ご提案については、当該事業の推進にあたり、今後の参考とさせていただきます。	D
貴重なご意見として承ります。 本構想の策定にあたり、関係機関からの推薦者で組織した検討部会において、拠点施設に必要な具体的な機能や配置場所について検討を進めて参りました。本構想(案)は、部会から報告された意見の多くを反映するものとして、策定委員会から答申されたものであることから、答申内容のとおり計画を進めて参りたいと考えます。 しかしながら、ご指摘のとおり、C街区についても富川市街地の活性化において重要な役割を担う場所と認識していることから、今後、商工会や関係機関をはじめ、地域住民の皆様への意見をいただきながら、魅力あるまちづくりに努めて参ります。 ご提案については、魅力あるまちづくりの協議にあたり、参考とさせていただきます。	D
貴重なご意見として承ります。 検討組織については、意見3・4の回答のとおりであり、商工業界及び第1次産業関係者から多くの若手が参加した組織で検討された内容となっております。 また、商工等の状況につきましては、商工会等と連携しながら有効な施策について検討を進めて参ります。 次に、当町の少子高齢化、雇用創出については、現在「まち・ひと・しごと総合戦略・日高町創生総合戦略」の策定作業に取り組んでいるところでありますので、「日高町創生総合戦略」策定組織の中で引き続き検討を進めて参ります。 ご提案については、商工業の活性化、地方創生総合戦略等の協議にあたり参考とさせていただきます。	D